

番組審議会

第661回

2022年6月20日

■ 審議会の構成

委員総数	10名
委員長	音 好 宏
副委員長	中 江 有 里
委 員	江 澤 佐 知 子 尾 縣 貢
	萱 野 稔 人 喜 田 村 洋 一
	佐 藤 智 恵 長 嶋 有
	水 無 田 気 流 目 加 田 説 子

TBSテレビ	佐々木 社 長
	渡 辺 常務取締役
	伊佐野 常務取締役
	岩 田 取締役
	瀬戸口 編成局長
	竹 内 報道局長
	山 岡 報道局ニュース部長
	辻 丸 報道局制作プロデューサー
	中 田 編成考査局長
	村 田 編成考査局視聴者サービス部長
	天 野 番組審議会事務局長

■ 議事概要

1. 審議事項

(1) 「news 23」

6月2日(木) 23:00～23:56放送分

(2) その他

3. 事務局報告事項

- (1) 視聴者からの声について
- (2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】（「news 23」について）

□誠実に一つ一つのニュースを解説する、小川さん・国山さんの姿勢が非常に良い。構成なども全体的にバランスが良く、安定感がある。

□スタジオセット、キャスター含め、若い層をターゲットにしたクリーンな印象。他方、サラサラ流れすぎていて、個性や切り口がもうちょっと欲しい。

□不妊治療のニュースについて。治療を受ければ誰でも妊娠できるような、誰でも治療を受けられるような印象を与えるのは良くない。社会全体でこの課題を議論できるような空気を醸成するのも、メディアの役割ではないか。

□完全にZ世代にシフトした印象。TBSらしさは失っていないが、非常に外連味の無いニュース番組になっていて、何か目玉・フックとなるコーナーが欲しい。

□キャスターのアナウンサー色が強く、ニュース番組のアンカーになりきれていない。積極的に現場に出して、アンカーとして育成しても良いのでは。

□報道局が目指すポジティブジャーナリズム。課題解決を応援するだけでなく、番組自身も課題解決を目指す姿勢をもっと強く打ち出しても良いのではないか。

□ファストフード・ファストファッションのように、ファストニュースという印象。コメンテーターも滑らかだがニュースによっては機能しないことが露呈した。

□専門店的な見地から、あるいは別の視点を提示するのが、コメンテーターだと思う。若いコメンテーターが出演すれば、若い視聴者がみる訳ではない。

夜のニュース番組として、タイトルと放送時間が果たしてこのままで良いのか、本質的な議論をした方が良いのではないかと。

かつて先達のキャスターに対し、この人なら誰に何を聞くのか、視聴者の関心が寄せられていたように、小川さん・国山さんなら誰に何を聞くのか、若い二人のスタンスを何か見つけて欲しい。

ニュース番組は、キャスターがニュースバリューをどう示せるか、ということだと思う。

TBSでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。(TBSテレビ番組審議会事務局)